

◎活動指標

第7期（平成30年度～令和2年度）における各事業の進捗状況を適切に把握し、計画で定める施策を効果的に推進するために設定した活動指標の実績は下記のとおりです。

なお、令和元(2019)年度及び令和2(2020)年度の実績について、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初見込んでいた数値を下回る実績値となっている指標項目があります。

指標項目	指標の考え方	初期値 平成 29年度 (2017)	計画値 令和2年度 (2020)	実績値（令和2年度は見込値）		
				平成 30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	令和 2年度 (2020)
地域包括支援センターにおける総合相談の件数	高齢者の総合相談窓口としての活動状況を把握するための指標	10,500件	12,000件 初期値+1,500件 (500件×3年間)	10,328件	10,703件	11,349件
入院時および退院時の情報連携加算が適用された件数	要介護認定者が入・退院する際の医療と介護の連携状況を把握するための指標	600件	660件 初期値×10%増	918件	836件	860件
緊急通報装置の貸与者数	高齢者の生活を支える環境の整備状況を把握するための指標	625人	656人 初期値×5%増	629人	627人	637人
生活支援ボランティア等養成研修受講累計人数	支援を必要とする高齢者への生活援助の担い手のすそ野を広げる取組みの活動状況を把握するための指標	30人	90人 30人×3年間	59人	59人	59人
シニアの元気アップ講座参加延べ人数	介護予防に関する普及・啓発の進捗状況を把握するための指標	379人	417人 初期値×10%増	271人	252人	231人
こころの健康づくりや生活習慣病をテーマとした講座や教育・相談の回数	自分の体や病気について考える機会の提供状況を示すための指標	189回	600回	413回	797回	1,116回
支えあいや介護予防等に関する住民団体との意見交換累計回数	生活支援コーディネーターによる自治会など住民団体に対する普及啓発の取組状況を把握するための指標	40回	120回 (40回×3年間) 〔参考 自治会数:161〕	42回	69回	99回
認知症高齢者家族やすらぎ支援事業利用日数	家族等介護者の負担軽減状況を把握するための指標	140日	154日 初期値×10%増	255日	104日	152日
蒼樹（そうじゅ）大学、聚楽（じゅらく）学園の講座開催数	高齢者を対象にした講座の開催等による社会参加の機会の提供状況を把握するための指標	137回	144回	135回	136回	10回
認知症サポーター養成講座受講者数	住民への認知症に関する普及啓発の取組状況を把握するための指標	900人	1,080人 初期値×20%増	1,371人	1,270人	207人

指標項目	指標の考え方	初期値 平成 29年度 (2017)	計画値 令和2年度 (2020)	実績値（令和2年度は見込値）		
				平成 30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	令和 2年度 (2020)
認知症初期集中支援チームの累計支援実人数	専門チームによる早期診断・早期対応の状況を把握するための指標	4人	12人 初期値×3倍 (1人×12ヶ月)	2人	1人	2人
成年後見制度に関する相談対応件数	権利擁護の推進状況を把握するための指標	40件	120件 (10件×12ヶ月)	86件	122件	113件
介護給付の適正化事業の実施事業数	介護給付の適正なサービス提供を把握するための指標	4事業	5事業	4事業	4事業	5事業
ケアプランの点検実施状況	介護給付の適正なサービス提供を把握するための指標	15事業所	15事業所	13事業所	16事業所	15事業所